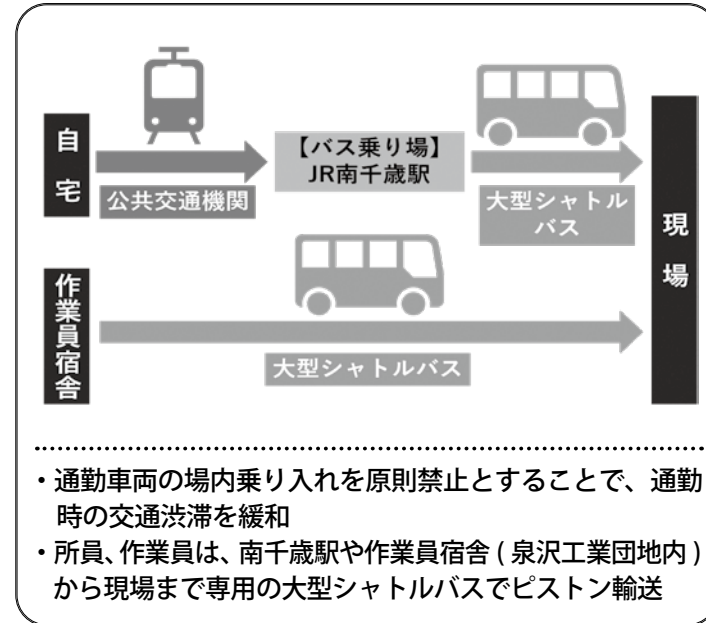


工場建設にかかる環境保全へのおもな取り組み

《Rapidus 社》

IIM-1 のような大規模な建設工事現場には、非常に多くの作業員が集まるため、通勤車両による交通渋滞が発生することがあります。そのため、本工事では車通勤を原則禁止とし、JR 南千歳駅からシャトルバスによるピストン輸送を行うなど、周辺地域における交通渋滞・交通災害を防止するための対策を行っています。

● 交通渋滞・交通災害防止対策



● その他

【工事排水の適切な処理】：工事による濁水などの流出を防止する排水溝の設置、オイル漏れ対策キットの常備

【CO₂ 排出量削減に向けた取り組み】：環境配慮型コンクリートの採用、省エネ教育と運用

【廃棄物削減への取り組み】：4R 活動（Refuse・Reduce・Reuse・Recycle）の推進、建設廃棄物の最終処理量の削減など

《千歳市》

周辺環境への影響を調査するため、工場建設地に近接する美々川や地下水の水質調査を実施し、結果を市ホームページで公表しています。

今後も継続して調査結果のモニタリングを行い、情報を発信します。



千歳美々ワールド
周辺環境影響調査

● 将来ビジョンの策定

Rapidus 社の立地により、今後、市には半導体関連企業や物流関連企業などが、数多く進出することが予想されています。

千歳市のまちに与える影響などを市民の皆さんに広く理解いただき、ともにまちづくりを行うための基本方針として「(仮称)千歳市将来ビジョン」をつくることとしており、本年12月の公表をめざして作業を進めています。

● 半導体情報ウェブサイトを開設



Rapidus 社の立地表明以降、市における半導体関連情報への関心が非常に高まっていることから、市民や事業者の皆さんに適切な情報を発信するため、3月中旬に「千歳市半導体情報ウェブサイト」を開設します。

このウェブサイトでは、Rapidus 社の事業動向や工事情報、半導体への理解を深める情報や、千歳市からのお知らせなどを掲載する予定です。

《Rapidus（ラピダス）社について》



半導体製造工場である IIM(イーム)の完成予想図。
※ IIM：Innovative Integration for Manufacturing

最先端ロジック半導体の開発・製造をめざして、国内トップの技術者が集結し、国内の主要企業の賛同を得て令和4年8月に設立。

政府による開発費支援を受け、令和5年2月に千歳市の工業団地である「千歳美々ワールド」に、最先端半導体の製造工場を建設することを表明。

今月の
Focus
焦点

次世代半導体製造拠点の実現に向けて

昨年2月28日、最先端ロジック半導体の開発と製造をめざす Rapidus(株)が、「千歳美々ワールド」に立地を表明し、1年が経ちました。

9月1日には、半導体製造工場の第1棟目である「IIM-1」(イーム1)の起工式が行われ、建設工事はこれまで順調に進んでいます。

今回は、事業の進捗や建設工事における環境保全への取り組みなどについて紹介します。

【詳細】次世代半導体拠点推進室 総務課 ☎(23)2110 ☎(23)2492

事業の進捗について

Rapidus(ラピダス)社における IIM-1(半導体製造工場)の建設工事は、令和5年9月1日に着工され、これまでに建物を支える杭や地下部分の工事が完了し、現在は、基礎や免震装置などの工事が進められています。

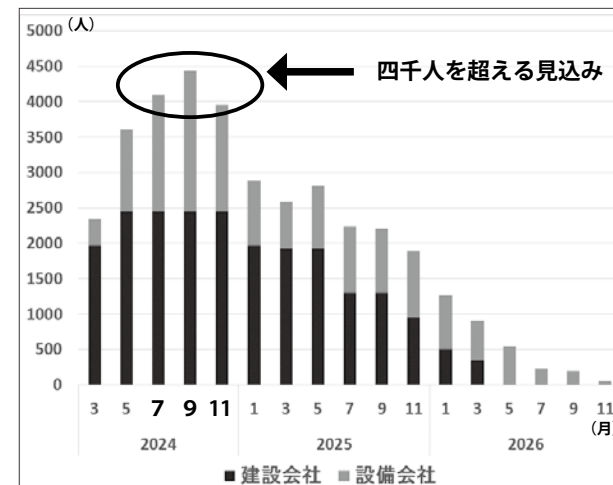
また、令和7年4月頃に試作ライン、令和9年中に量産ラインの稼働をめざしています。そのため、市では工場周辺の道路や下水道施設などのインフラ整備を進め、北海道では令和9年までに苫小牧地区の工業用水を供給するための施設整備を進めることとしています。

今後、建物本体や設備関係の工事が本格化することに伴い、ピーク時となる今年の夏・秋頃には、最大で四千人を超える作業員の方が千歳市を訪れ、市内で生活することになります。

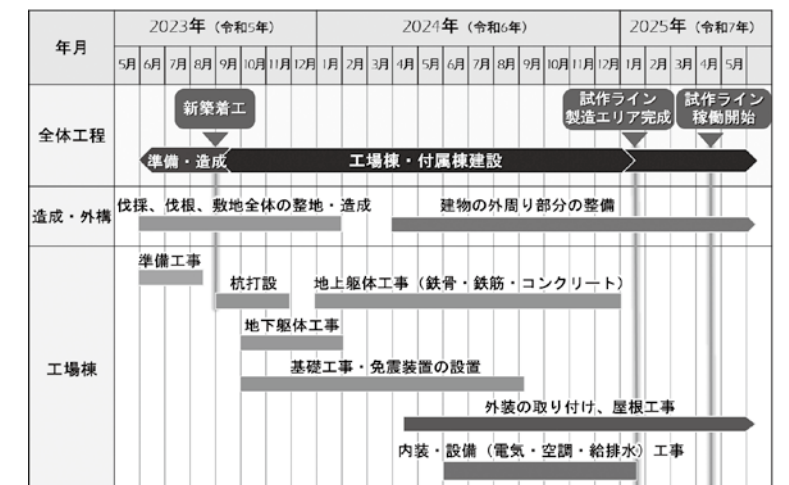
IIM-1建設工事では、作業員の住宅として市内工業団地に仮設の宿舎を建設しているほか、作業員の自家用車による通勤を原則禁止し、専用バスによる人員輸送を行うなど、現場周辺の交通渋滞を防止するための対策を行っています。

また、食事などについても、敷地内に食堂や売店を設置し、現場内で完結する体制をとっていますが、市内のさまざまな施設で利用者が 증가することが予想されます。

事業の円滑な推進に向けて、皆さんのご理解とご協力をお願いします。



【IIM-1建設工事に関する作業員数（見込み）】



【IIM-1建設工事スケジュール 提供：鹿島建設(株)】